

議事概要

藤沢市政策会議を次のとおり開催した。

会議名	令和3年度第6回政策会議
開催日	2021年(令和3年)7月15日(木)8:30~9:14
場 所	本庁舎7階 災害対策本部室
出席者	鈴木市長, 和田副市長, 宮治副市長, 岩本教育長 (政策会議委員) 総務部長, 企画政策部長, 財務部長, 防災安全部長, 市民自治部長, 生涯学習部長, 福祉部長, 健康医療部長, 保健所長(テレビ会議参加), 子ども青少年部長, 環境部長, 経済部長, 計画建築部長, 都市整備部長, 道路河川部長, 下水道部長, 市民病院事務局長(テレビ会議参加), 消防局長, 教育部長, 議会事務局長, 監査事務局長, 農業委員会事務局長, 選挙管理委員会事務局長
議 事	(1) 報告・情報提供等 ア デジタル化に向けた取組について(企画政策部・総務部) イ 藤沢市地域防災計画修正案について(防災安全部)
内 容	1 開会 2 市長あいさつ 3 議事 (1) 報告・情報提供等 ア デジタル化に向けた取組について □デジタル推進室長及び同室主幹から, 企画政策部・総務部提出の資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 デジタル化に向けた, 今後の取組事項について, 各課へ依頼するもの。 《主な意見等》 ○資料の6ページの「3. 取組内容」について, 各会議における資料のデジタル化の説明の中で, 「分庁舎等の無線LANが整備できていない場所は除く」と記載されているが, 主に建設部局は分庁舎にある。まず, 無線LANの整備はいつ頃となる見込みか, 伺いたい。あと, 建設部局の場合, CADソフトを入れているため, 所属長も含めてどうしてもデスクトップになってしまう。課内会議であれば自分のパソコンで参加できるが, 部内会議となると, ノートパソコンではないので, 未だに政策会議の資料など主要な部分を紙で印刷して, 各所属長に配って会議を行っている状況である。分庁舎についてもそうした課題をできる限り早く解消していただきたいが, その点は如何か。 ⇒分庁舎については, 主にCADを扱う職員が多いということは認識

<p>内 容</p>	<p>しており、その点が課題となっている。したがって、デスクトップ端末を多く使用している部局については、課内会議であれば資料のデジタル化も対応できると思うが、現状ではどうしても全ての会議について対応できない部分はある。そのため、そうした部局についてはできる範囲で資料のデジタル化をお願いしたい。ただ、ネットワーク環境更新のタイミングで、その辺りの課題が解消できるか検討していきたい。</p> <p>○恐らく、所属長であればCADはそれ程使用しないと思うので、ノートパソコンに変えていただければ、対応できるため、検討をお願いしたい。</p> <p>⇒情報システム課とも協議させていただく。</p> <p>○福祉部でもデジタル化を進めている。福祉部内の会議についても基本的にデジタル化で開催しているが、やはり資料について相当な量がある。そうした中で、気付いたことが2点ある。1点目が、デジタル化に当たって、安易に資料を添付し過ぎるという問題がある。これは紙資料の場合であれば添付する資料を精査するところ、デジタルの場合、とりあえず付けておこうということもある。そうした点を一緒に注意喚起していただくようお願いしたい。もう1点は、福祉部の場合、かなりの職員数だが、ひとつの大きな容量の資料データを渡すと、それぞれ個人で持ち続けてしまうケースがある。資料の10ページにも、「各課に配布していた資料はライブラリで共有を検討」との記載もあるが、容量がいっぱいになってしまうので、個人であまり持ち過ぎないように、その点も併せて注意喚起をしていただきたい。</p> <p>○今お話しいただいたNドライブの容量にも関係するが、是非情報システム課と調整していただきたい課題として、個々の職員がNドライブで同じファイルを保有し、全体の容量を圧迫している。また、資料の10ページの「常にデジタル化を意識しましょう！」の中で、「作成文書を確認するときは、なるべく画面で確認すること」とある。総論としては良いのだが、内部統制的な視点で見ると、重要な内容のものは、やはり必要に応じて紙資料できちんと確認をしていただきたいところがある。重要度に応じて、絶対にミスが許されないようなものでなければ、画面で確認して、ペーパーレス化を進めていただくという方向性は必要だが、対外的なものはアナログな手法で誤りがないかしっかりと確認していただくということも大事な視点なので、その辺りも含めた表現が望ましい。</p> <p>⇒当然、このようにペーパーレス化に向けた取組をお願いしていくに当たっては、例えばNドライブの容量の問題など、次期端末の更新を見据える中で、運用を変えられるようしっかりと検討していきたい</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>い。あと、もう一点ご指摘いただいたように、全て紙資料をやめるということではなく、デジタルファーストの考え方に沿って、デジタル化できないのか、ペーパーレス化できないのか、ということをも最初に考えていただきたいということである。その上で、これについては絶対に紙でないときちんと確認ができないということであれば、そうした運用としたいと思うので、よろしく願います。</p> <p>○デジタル化に向けた取組というというのは、単に情報をPDF化することではないと思う。それは、デジタル化ではなく、データ化である。データ化した帳票を入口にして、どうやって外に波及させていくのか、ワンストップ・サービスを実現していくのか、という方法を考えていくのがデジタル化だと思っている。今後、財政状況も厳しい中で、デジタル・テクノロジーを活用して、市民サービスの質を維持・向上していくところが主な目的になる。先程もご指摘いただいたが、内部統制的な視点もどうしても必要になってくる。全てがデジタル化できるわけではなく、例えば、審査などどうしても人の手が入ってくる部分があるので、そうした部分とデジタルを融合させていくことで、しっかりと内部統制を図っていくことが重要となる。そうしたことを部内会議、課内会議などで共有して、デジタル化に向けた検討を行っていただくとともに、部局間の横断的な連携も進めていきたい。</p> <p>○様々なご意見が出たが、本日の資料は、まず出来るところから始めようといった視点で、改めて意識啓発的な説明をさせていただいたというのが、主な趣旨である。本日の資料も含めて、私のところにも事前調整ということで各部局の方々が説明に来ていただいているわけだが、その中でも事前にデータでやり取りしているのは、デジタル推進室と、職員課の一部だけである。あとは、相変わらず紙資料を中心に調整をしている状況だが、例えば、緊急案件でデジタル化している余裕がない場合はともかく、予め時間を確保して、次のステップに進むための事前調整のようなものであれば、極力デジタル化をしていただきたい。また、これから複数の行政手続きのオンライン化を進めていただくことになるが、必ず何処かにデジタル化の要素はあると思っている。先日、各所属長を対象にしたデジタル人材育成全体研修を実施した際、研修後のアンケートで「研修を聞いて、あなたの職場はDXできそうだと感じましたか？」という設問に対して、約4割の所属長が「できないと思う」と回答したそうだが、そんなことは絶対はない。各課の業務の中で、デジタル化できる業務というのは、数限りなくあると思う。確かに、デジタル化できない、向かない傾向の課というのはあるかもしれないが、全くないというのは絶対にあり得ないと思う。どういった趣旨で「で</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>きない」と書かれたのか、やりづらいという意味なのか、そこは分からないが、デジタル推進室長からのお話でもあったように、まずこれはデジタル化できないのかという疑問を持っていただきたい。これは庁内だけの話ではないと思う。先日も神奈川県市町村職員共済組合から共済組合扶養者の資格調査の依頼があったが、相変わらず紙ベースである。そういったところの働きかけも行っていただきたい。特に庁内のことであれば、常に意識をしていただき、こうしたらデジタル化できるのではないかと、というアドバイスをさせていただくのも有効だと思う。是非、そうした意識付けをしていただきたいので、改めて各部局長から部内会議・課内会議等を通じて周知をお願いします。</p> <p>イ 藤沢市地域防災計画修正案について □防災安全部長から、資料１～３に基づき概要説明が行われた。 《内容》 ２０２１年６月９日付けで依頼した藤沢市地域防災計画修正案新旧対照表の確認について、各指揮本部からの回答に基づき作成した修正案を報告するもの。 《主な意見等》 なし。</p> <p>４ その他 ○いよいよ東京２０２０大会が開催されるので、現在の情報を提供させていただく。本市江の島で行われるセーリング競技については、７月２５日から８月４日までの日程で開催される。そのことに伴い、７月１３日からは、江の島島内への交通規制が始まっている。また、本日７月１５日からは、海上での公式練習が開始される。事前キャンプについては、７月８日からエジプトのフェンシング選手団、７月１３日にはエルサルバドル選手団が、善行の県立スポーツセンターで事前キャンプに入った。エジプト選手団は予定では７月１７日まで、エルサルバドル選手団については一部が今月末まで事前キャンプを行う予定である。新型コロナ感染症対策については、バブル方式ということで、開催中は大磯町の選手村と江の島のセーリング会場を貸し切りバスで往復し、一般市民との接触がないような形で感染症対策を行っていく。首都圏は無観客開催となり、江の島の会場も無観客となる。それに伴いシティキャストの活動も原則中止としたが、代替としてSNS等を活用し、本市の魅力やセーリングの魅力を発信していただくことを検討中である。いずれにしても、これから約２週間、しっかりとオリンピック競技を行っていく</p>
------------	--

<p>内 容</p>	<p>ので、ご理解とご協力をお願いする。</p> <p>○コロナワクチン接種に関連したお願いとなる。ワクチン接種が順次進んでいるが、ワクチン接種を希望しているものの、なかなか接種の機会がないとか、予約の方法が分からないという方がまだまだいる。そのため、一定程度の人数が終わった段階で、ワクチン接種希望者について、誰一人取り残さない対策をしていきたい。具体的には分かりやすいPRや、高齢者や障がい者への意思決定支援を含む予約方法のサポート、またワクチン接種を希望しない方への差別・偏見を防止の3点をメインにして、地域と様々な協力をして、ローラー作戦のような形でPRをしていきたい。対象者は高齢者や障がい者、路上生活者、ネットカフェ難民、外国籍の方など、まだ他にもいらっしゃると思うが、これから精査していきたい。基本的に8月末の時点で全国民の4割程度が接種終了する見込みということだが、まずは対策の重点期間を9月から10月に設けて実施していきたい。今のところ関係する部として、健康医療部、市民自治部、生涯学習部、企画政策部等が考えられているが、その他、先程の対象者と接する機会がある部局については、これらの取組の中で、具体的にはチラシ配布などの協力をお願いすることもあるかもしれないので、改めて調整させていただきたい。今、福祉部でも、コロナ関連で支援金制度の業務に多くの人員を取られている。したがって、改めて何か特別な事をするわけではなく、できることを洗い出して検討する。プラスアルファで何かアイデアがあれば、それを実行していきたい。リストアップされたものをコーディネートして、市民に丁寧に対応していく準備を進めている。何かあれば情報共有させていただく。</p> <p>○新聞報道等で全国的にワクチン供給が足りないという話があるが、この事実に関しては本市も全く変わりがない状況である。これに関しては国の大きな供給網の中で、確保していただくしかない。先日、新聞報道で、藤沢市はワクチン接種が進んでいないため、少し供給量が減るという報道が出たが、昨日、市長に直接県知事のところに行っていただき、ワクチン配分に関して要望を行ったところである。皆さんも、市民の方からワクチン接種の状況について聞かれると思うが、藤沢市も努力をしていることを伝えてほしい。あと、ワクチンパスポートについても色々報道が出てきているが、これに関しては、マスコミの報道が先行していて、国からは具体的な情報が示されていない状況である。健康医療部としては、実際の対応を含め検討しているので、もし、お問い合わせがあれば、市として検討を進めているということでお答えいただきたい。</p> <p>○ワクチン接種の話が中心だったが、熱海市で発生した土石流現場へ</p>
------------	---

<p>内 容</p>	<p>の消防局職員の災害派遣は終わっており、後は引き継ぎということで、その辺りの調整を進めていると伺っている。今は全庁を挙げてワクチン接種に向けた対応が最優先ということだが、そのワクチン接種に当たっては、健康医療部だけではなく、別の角度から見た時に各部局でも色々サポートできることがあるのではないかと思うので、アイデアを是非出していただきたい。今後は、ワクチンが一定程度希望者に行き渡った後のことも考えていく必要がある。経済対策の部分は考えているが、それ以外の分野でも、大きな流れとしては今後こうなるのではないかという想定を今からしておかないと間に合わないので、対応策を出し合っていたきたい。</p> <p>○熱海市の土石流事案について、神奈川県緊急消防救助隊が結成され、本市からは高度救助隊、救急隊、後方支援隊を派遣した。先般最後の部隊が帰ってきたが、全部で4次に渡る派遣活動となり、60名以上の派遣となった。要救助者の発見には至らなかったということだが、大きな災害を実際に対応することは本市にとっても今後同様な災害が生じた際の貴重な経験となった。詳細については、後日報告する。</p> <p>5 閉会</p>
------------	--